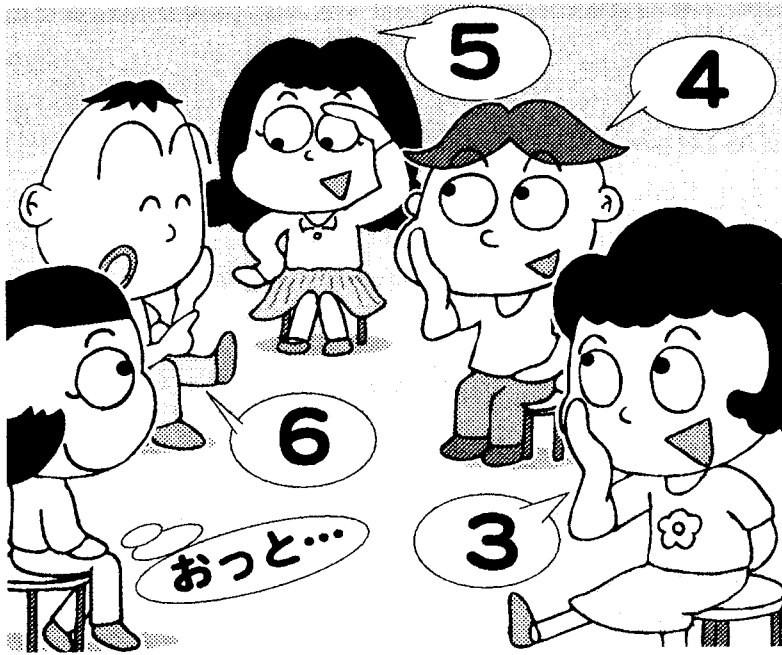


あそび の レシピ



【人数】10人—20人

【場所】円になって座れる場所

【遊び方】

①イスまたは床に円になって座る。誰か1番の人を決める。1番の人は「いち」と言いながら自分の右か左のほおに手を当てる。

②1番の人がほおに手を当てた側の人が2番。2番になった人は「に」と言いながら、同様に自分のほおのどちらかに手を当てる。次の人に送っても良いし、1番だった人に送り返してもオーケー。

③みんなが慣れるまで「いち」「に」「さん」…と、円を1、2周する。これが基本ルール。

④では、本番。5の倍数(5、10、15…)になった人だけは、ほおを触らず、おでこに手をかざす。次の番号はかざした手の指先が向いた方向。

⑤番号を言うのが遅れた人や、自分の番ではないのにつられて番号を言ってしまったり、手の動作を間違えた人はアウト。アウトの右側が1番になってゲーム再開。

⑥アウトの人は列に並ぶ。3人以上になったら最初にアウトで並んだ人が円の中に戻る。

どっぴりにも止まらない

番号手のひら送り

遊びの中には、誰かがリーダーになって指示を出したり、指導したりするものがありますが、ルールを理解した

自分たちだけで主体的に続けられる遊びもあります。今回は、リーダーなしで、始まった後終わらないエンドレスの遊びです。

最初のうちは間違えないようにみんな集中していますが、間違えたところで誰も責めないし、誰でも間違えやすい遊びです。みんなが集中してドキドキしているとき、誰かが間違えるとホッと一息。間違いが遊びの楽しさをいつ

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092(882)0363